

花きの安定生産支援 ～デルフィニウム栽培管理改善～

(課題番号 2)

◆対象：みついし花き振興会（56戸）

1 課題の背景

- ・花き振興会の販売実績の7割以上を占めるデルフィニウム生産において、近年生育不良が発生し減収する農業者が見られる。
- ・現地では生育不良の発生要因が病害と考えられているが、土壌消毒済みほ場でも発生していることから、原因を確認する必要がある。
- ・デルフィニウムは年2作栽培されていることから、生育不良の発生時期や発生要因などを確認し、生育不良改善策を整理・提案する。

2 活動の経過

- 生育不良要因の確認
- 定植前～採花終了後まで経時的に生育状況を把握
- 生育不良要因に対する改善策を整理、提案
- 研修会などを通して全体への周知

表 生育不良確認経過

	時期	品目	戸数
定点巡回	R3.3～10月	シネンシス	3戸
要請対応	R3.5～9月	シネンシス エラータム	6戸



写真1 定点巡回



写真2 関係機関と連携対応



写真3 根張り確認

3 活動の成果

病害対策改善戸数：0戸→2戸（到達度100%）

○生育不良の原因

茎腐萎凋病のみではなく、地際の傷や根張り不良、高温障害など、複数要因により生育不良が発生していた。

○土壌消毒方法の改善

処理時の土壌水分不足があったため、改善を1戸が実施。

○耕起方法の見直し

地表面のクラストなどが病害発生を助長する可能性があり、1戸が耕起見直し実施。

○花き振興会での情報共有による意識変化

反省会や現地研修会で情報提供したことで、土壌消毒方法や管理改善などを検討するなど、参加した農業者の意識変化につながった。



4 今後の課題

- ・土壌消毒方法の改善による効果の検証。
- ・生育不良要因となる栽培環境改善支援。